

## 2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月13日

上場会社名 ニッケ(日本毛織株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 3201 URL <https://www.nikke.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 長岡 豊  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営戦略センター財經室長(氏名) 藤原 浩司 TEL 06-6205-6635  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 2023年8月18日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年11月期第2四半期の連結業績(2022年12月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	54,548	1.7	4,570	△11.9	4,810	△17.2	3,313	△13.1
2022年11月期第2四半期	53,616	6.1	5,187	10.4	5,811	32.0	3,811	265.1

(注) 包括利益 2023年11月期第2四半期 4,311百万円(△10.1%) 2022年11月期第2四半期 4,794百万円(90.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	46.86	—
2022年11月期第2四半期	51.82	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第2四半期	165,058	110,115	66.2	1,544.25
2022年11月期	163,384	107,734	65.3	1,508.32

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 109,264百万円 2022年11月期 106,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2023年11月期	—	14.00	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日~2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	11.0	11,000	2.7	11,400	△2.7	7,300	0.2	103.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期2Q	78,478,858株	2022年11月期	78,478,858株
② 期末自己株式数	2023年11月期2Q	7,723,321株	2022年11月期	7,784,142株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期2Q	70,719,047株	2022年11月期2Q	73,553,423株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

### (1) 経営成績に関する説明

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN(リニューアル・ニッケ)130ビジョン(2017～2026年度)」(以下「RN130ビジョン」という)において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、永続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は、「RN130ビジョン」の具現化に向けて策定した「RN130第2次中期経営計画(2021～2023年度)」の最終年度であるとともに、「RN130ビジョン」に向けての総仕上げとなる「第3次中期経営計画(2024～2026年度)」を策定する年となります。経済活動の回復にはなお時間がかかり、2023年度も不透明な状況が続きますが、一方で、環境を始めとしたサステナビリティ志向の高まりは新たな機会も生んでおり、これらの変化をチャンスと捉えて各種施策を実行しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高54,548百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益4,570百万円(前年同期比11.9%減)、経常利益4,810百万円(前年同期比17.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,313百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

円安による羊毛原料コストの上昇や、エネルギー費・物流費高騰の影響等で、売上高は増収も減益となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

#### ①衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高15,091百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益1,317百万円(前年同期比10.4%減)となりました。

円安による羊毛原料コストの上昇やエネルギー費の高騰が、収益を圧迫しております。

##### (ユニフォーム分野)

学校制服用素材は、縫製工場の生産逼迫に伴う販売時期のずれ込みはありましたが前年同期並みでした。官公庁制服用素材は、警察用制服生地および製品が低調でしたが、消防向けは前年同期並みでした。一般企業制服用素材は、コロナ禍で低迷していた前年同期との比較では、引き合いは増加しているものの、当第2四半期での販売には至らず低調でした。

##### (テキスタイル分野)

一般衣料用素材は、国内販売はスーツ・フォーマル生地の販売が増加し好調でした。海外販売は、英国向けのスーツ生地、欧州向け合繊テキスタイルの回復により販売が大幅に増加し好調でした。

##### (ヤーン分野)

売糸は、ニット関連の販売が大幅に増加し好調でした。

#### ②産業機材事業

産業機材事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高11,711百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益414百万円(前年同期比37.6%減)となりました。

##### (自動車関連分野)

自動車生産が半導体不足や部材調達問題などの影響を受け不安定に推移しており、車両向けの不織布や縫製糸・結束紐などは、低調でした。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備は、顧客からの受注・引合いは回復傾向にあるものの、半導体等の部材入手遅延の影響等により、低調だった前年同期並みでした。

##### (環境関連分野)

フィルター資材などの環境・エネルギー関連資材は、前年同期並みでした。

##### (その他産業関連分野)

半導体関連装置や画像検査装置は部材不足により客先への納品遅れが生じ低調でした。OA向け資材、その他工業用資材は、顧客の在庫調整の影響を受け低調でした。

(生活関連分野)

ラケットスポーツ関連は、顧客の在庫調整の影響を受けて低調でした。フィッシング関連は、コロナ特需は一巡したもののOEM受託生産が伸び前年同期並みでした。生活関連資材は、顧客の在庫調整の影響を受け、楽器用フェルトの受注が低調でした。

③人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高16,341百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益3,258百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

(商業施設運営分野)

商業施設運営は、2022年10月にリニューアルしたコルトンプラザで来場者が増加したことに加え、コロナ禍の影響が軽減された為堅調でした。自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメントおよびコンサルティング業務は、前年同期並みでした。

(不動産開発分野)

不動産賃貸事業は、新規契約が成約し堅調でした。ソーラー売電事業は、前年同期並みでした。建設関連は、受注が低迷していることに加え、建築資材の調達遅れ等で工期が延期になり、低調でした。

(ライフサポート分野)

保育関連は、昨年閉鎖した施設の影響がありましたが、既存施設は安定的に推移し前年同期並みでした。介護関連は、コロナ禍の影響が継続しているものの、愛知県あま市に新たに2施設を開業し、入所者数が順調に増加している為、前年同期並みでした。スポーツ関連は、前年同期並みでした。

(通信及び新規サービス分野)

通信関連は、手数料収入が減少し低調でした。新規サービス関連の売上は、コロナ禍の影響で低迷していた児童向けアミューズメント施設の利用者数が回復した事や、持ち帰り商品の需要増加で菓子類販売等が順調でしたが、レンタル事業の一部店舗の閉鎖により、低調でした。

④生活流通事業

生活流通事業の当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高9,536百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益311百万円(前年同期比50.9%減)となりました。

原材料費の高騰による仕入価格の上昇、競争が激化しているEC事業等での広告宣伝費および物流費の上昇が収益を圧迫しております。

(寝装品及び業務用品分野)

寝装品は、EC向け販売が低調でした。業務用品は、災害用備蓄毛布や航空機内膝掛け毛布が復調したことに加え、防疫品の販売も好調だった為、堅調でした。

(生活雑貨分野)

100円ショップ向け等の雑貨販売は、好調でした。家具類販売は、巣ごもり需要が一巡したこともあり不調でした。EC向け生活家電の販売は、当期よりサンコー株式会社がグループに加わったこともあり好調でした。またフィルム関連は、携帯電話の新規販売台数の鈍化に連動し不調でした。

(ホビー・クラフト分野)

スタンプ販売は、オリジナルスタンプ等が貢献したものの、インクパッドや年賀商材の販売減少により低調でした。スタンプ用インクの販売は、国内販売は堅調でしたが、海外販売が不調でした。また乗馬用品販売は、前年同期並みでした。

(その他)

保険代理店の経営成績は、前年同期並みでした。コンテナ販売は、前年同期並みでした。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月13日公表の予想数値より変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,500	38,066
受取手形、売掛金及び契約資産	25,032	21,789
有価証券	3,000	2,900
商品及び製品	14,702	17,170
仕掛品	7,037	7,310
原材料及び貯蔵品	2,532	2,755
その他	2,195	2,535
貸倒引当金	△96	△88
流動資産合計	88,904	92,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,606	24,861
機械装置及び運搬具(純額)	5,457	5,154
土地	14,972	14,847
建設仮勘定	410	916
その他(純額)	733	694
有形固定資産合計	47,180	46,474
無形固定資産		
のれん	376	1,139
その他	722	721
無形固定資産合計	1,098	1,860
投資その他の資産		
投資有価証券	22,067	20,360
長期貸付金	17	15
破産更生債権等	45	43
長期前払費用	350	337
退職給付に係る資産	547	543
繰延税金資産	1,053	1,062
その他	2,192	1,993
貸倒引当金	△74	△71
投資その他の資産合計	26,199	24,284
固定資産合計	74,479	72,620
資産合計	163,384	165,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,493	9,688
短期借入金	16,309	19,536
1年内償還予定の社債	60	99
賞与引当金	1,660	1,521
未払法人税等	1,758	1,126
その他の引当金	127	60
その他	7,830	6,396
流動負債合計	38,239	38,429
固定負債		
社債	60	108
長期借入金	2,850	1,583
繰延税金負債	3,320	3,719
退職給付に係る負債	2,729	2,642
長期預り敷金保証金	6,453	6,555
資産除去債務	439	440
その他	1,555	1,463
固定負債合計	17,409	16,514
負債合計	55,649	54,943
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	4,454	3,997
利益剰余金	96,439	98,522
自己株式	△5,935	△5,889
株主資本合計	101,423	103,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,483	5,372
繰延ヘッジ損益	55	95
為替換算調整勘定	668	689
退職給付に係る調整累計額	△0	10
その他の包括利益累計額合計	5,206	6,168
非支配株主持分	1,103	850
純資産合計	107,734	110,115
負債純資産合計	163,384	165,058

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
売上高	53,616	54,548
売上原価	37,302	38,645
売上総利益	16,313	15,902
販売費及び一般管理費	11,126	11,332
営業利益	5,187	4,570
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	308	310
為替差益	204	-
持分法による投資利益	8	4
賃貸関係収入	168	-
その他	326	134
営業外収益合計	1,026	461
営業外費用		
支払利息	43	48
為替差損	-	11
租税公課	181	31
その他	177	130
営業外費用合計	402	221
経常利益	5,811	4,810
特別利益		
固定資産売却益	94	-
投資有価証券売却益	48	46
関係会社株式売却益	-	86
受取補償金	-	50
補助金収入	-	70
特別利益合計	142	254
特別損失		
固定資産圧縮損	-	70
投資有価証券評価損	51	-
投資有価証券売却損	12	-
事業構造改善費用	-	46
特別損失合計	63	117
税金等調整前四半期純利益	5,890	4,947
法人税、住民税及び事業税	1,933	1,598
法人税等調整額	34	4
法人税等合計	1,967	1,603
四半期純利益	3,922	3,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,811	3,313

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	3,922	3,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	574	892
繰延ヘッジ損益	20	40
為替換算調整勘定	218	23
退職給付に係る調整額	58	11
その他の包括利益合計	871	967
四半期包括利益	4,794	4,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,678	4,275
非支配株主に係る四半期包括利益	116	36

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,890	4,947
減価償却費	1,887	1,914
のれん償却額	189	203
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	△90
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	97	14
受取利息及び受取配当金	△318	△323
支払利息	43	48
持分法による投資損益(△は益)	△8	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△36	△46
投資有価証券評価損益(△は益)	51	-
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△86
固定資産売却損益(△は益)	△94	5
固定資産除却損	4	17
売上債権の増減額(△は増加)	4,080	3,294
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,279	△1,110
仕入債務の増減額(△は減少)	△97	△648
その他	△1,161	△1,236
小計	8,195	6,889
利息及び配当金の受取額	320	326
利息の支払額	△49	△45
法人税等の支払額	△2,545	△2,277
法人税等の還付額	276	89
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,196	4,981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	-	1,000
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	-	154
固定資産の取得による支出	△1,710	△1,530
固定資産の売却による収入	184	6
投資有価証券の取得による支出	△15	△19
投資有価証券の売却及び償還による収入	278	309
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	47
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	4	0
その他	△4	△143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,264	△175

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,745	556
長期借入れによる収入	600	-
長期借入金の返済による支出	△766	△647
社債の償還による支出	△30	△53
リース債務の返済による支出	△42	△55
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△769	△0
配当金の支払額	△1,176	△1,129
長期預り敷金及び保証金の受入による収入	203	359
長期預り敷金及び保証金の返還による支出	△188	△262
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△597
その他	△56	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	518	△1,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,427	2,937
現金及び現金同等物の期首残高	41,052	34,363
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	211	677
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,691	37,978

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、サンコー(株)を連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間より、株式を売却したため、(株)ジーシーシーを連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	14,258	11,685	16,816	9,029	51,788	1,827	—	53,616
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	137	106	325	88	658	0	△658	—
計	14,395	11,792	17,141	9,117	52,447	1,828	△658	53,616
セグメント利益	1,471	663	3,195	634	5,964	7	△784	5,187

- (注) 1. セグメント利益の調整額△784百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△788百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	15,091	11,711	16,341	9,536	52,680	1,868	—	54,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	471	112	390	33	1,007	0	△1,007	—
計	15,562	11,823	16,731	9,569	53,687	1,868	△1,007	54,548
セグメント利益	1,317	414	3,258	311	5,302	40	△772	4,570

- (注) 1. セグメント利益の調整額△772百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△779百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	14,225	11,580	15,242	9,029	50,077	1,827	51,905
(2)その他の収益(注2)	32	105	1,573	—	1,711	—	1,711
計	14,258	11,685	16,816	9,029	51,788	1,827	53,616

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	15,052	11,603	14,709	9,536	50,902	1,868	52,770
(2)その他の収益(注2)	38	107	1,631	—	1,777	—	1,777
計	15,091	11,711	16,341	9,536	52,680	1,868	54,548

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。